

写真家

相原正明 | 光と色の処方箋

2017.12.20(水) 16:30 - 18:30 @和歌山大学 観光学部棟 T-101



相原正明 (あいはらまさあき)

●プロフィール

1958年、東京都出身。日本大学法学部新聞学科卒業。学生時代より、北海道、東北のローカル線、ドキュメンタリー、動物、スポーツなどを撮影する。卒業後、広告代理店に勤務。8年間の代理店勤務のち退社。オートバイによるオーストラリア単独撮影ツーリングに向かい、彼の地にて大陸とネイチャーフォトの虜になる。撮影ではホテル等は使わず、必ず撮影場所でキャンプして、大陸と一緒にいることを、心がけている。日本人として初めてオーストラリアでの大型写真展を、オーストラリア最大の写真ギャラリーウィルダネスギャラリーで開催して以来、世界各地で写真展開催。タスマニア州政府 フレンズ・オブ・タスマニア（親善大使）の称号を持つ。2008年には、世界のフォトグラファー17人を集めた「アドビフォトアドベンチャー」に日本代表として参加した。2008年、中日新聞広告賞を「体感するオーストラリア（オーストラリア政府観光局）」にて受賞。2017年、富士フィルム X シリーズの無音シャッター機能を活かし、舞台裏を撮影した写真展「音と光の間 桂花園治襲名を通して見た落語の世界」を開催した。